

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

# かしわば

創刊号

2003.8

地域の皆さまに、より親しまれる病院を目指して

**新館がオープンします**

先端医療とアメニティの共存に向けて

理事長 柏葉 武

最先端の技術でより高度な医療サービスを

院長 金子 貞男

かしわばゼミナール

身近で頼りになる脳と神経系の専門病院

部門レポート

放射線科／MRI・RI

科長 川村 芳美

【発行】医療法人 柏葉脳神経外科病院 〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20  
URL <http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp> TEL(代)011-851-2333 FAX 011-851-2131

【制作】有限会社 慶文社

# 地域の皆さまに、より親しまれる病院を目指して 新館がオープンします

## 新館概要



## 外来ロビーや手術室、病棟施設の 充実を図るために

平成14年に着工した新館増改築工事ですが、おかげさまで10月14日に竣工することになりました。

完成する新館は、4階建てで、延べ床面積5,553.78㎡。これにより、1階外来ロビーは従来の広さより約2倍のスペースを確保しました。2階には50床の新病棟がオープン。4階には、2つの広い手術室と患者家族の待合室があります。

医療機器の充実はもとより、入院設備のグレードアップも実現しています。

引き続き、本館の改築工事も進め、平成17年竣工を予定しています。

当院は、今後とも、より一層地域に密着し、信頼され親しまれる病院を目指していきます。

## 柏葉脳神経外科病院のあゆみ

- 創成期
  - 昭和46年 柏葉脳神経外科医院19床10名の職員で開院
  - 昭和50年 第2期工事竣工 60床、柏葉脳神経外科病院となる
- 創造期
  - 昭和55年 医療法人設立
  - 昭和57年 第3期工事竣工 161床となる
  - 昭和58年 職員数117名となる
  - 昭和59年 日本脳神経外科学会認定医訓練施設（A-229）に指定される
- 発展期
  - 平成 2年 第4期工事竣工
  - 平成 4年 基準看護 特2類承認(全病棟)
  - 平成 5年 理学診療科併設
  - 平成 7年 在宅訪問診療開始
  - 平成 8年 精神保健科と麻酔科併設
  - 平成10年 職員数205名となる  
日本病院機能評価機構の認定を受ける
  - 平成12年 居宅介護支援事業スタート
  - 平成15年 第5期工事新館完成

## 理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

## 基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します

- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

## 患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります



最先端の技術で  
より高度な医療サービスを



院長 金子 貞男

昭和45年 北海道大学医学部卒業  
北海道大学脳神経外科学講座 入局  
昭和54年 米国オハイオ州立大学 留学(～56年)  
昭和59年 北海道大学医学部付属病院  
脳神経外科学講座 講師  
昭和60年 岩見沢市立総合病院 脳神経外科医長  
平成14年 岩見沢市立総合病院 副院長  
平成15年 柏葉脳神経外科病院 院長

新館オープンにあたって



理事長 柏葉 武

昭和31年 北海道大学医学部卒業  
北海道大学脳神経外科学講座 入局  
昭和42年 北海道大学医学部付属病院  
脳神経外科学講座 講師  
昭和46年 柏葉脳神経外科病院 院長  
昭和50年 柏葉脳神経外科病院 院長  
平成15年 柏葉脳神経外科病院 理事長

先端医療とアメニティの  
共存に向けて

脳神経外科の高度専門医療を  
提供する医療施設として

1971年に19床、職員数10人で開院した柏葉脳神経外科病院は、「人の命を敬愛し、心に太陽を、唇に温かいほほえみを」をモットーにしながら、脳神経外科の専門医療を目指した中核医療施設として歩んできました。  
皆さまのおかげで、2001年には30周年を迎えることができました。また、今年10月には北海道でも有数の最先端医療機器を備えた新館がオープンします。

新館のコンセプトは「心身が癒される快適空間」です。患者さんにも、お見舞いの方にも、そして、スタッフにも快適な環境にしたいと考え、「先端医療とアメニティの共存」という夢にチャレンジしました。  
これからは、ハード面とともに、ソフト面の改善を一層強化しながら、患者さんにご満足いただける病院づくりを進めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

すべての人に優しい医療空間を

後遺症を激減させた「覚醒開頭術」

当院は脳神経外科の専門病院として、手術後の患者さんがより良い状態で社会復帰できることを願い、最先端の医療技術を積極的に導入しています。中でも、画期的な手術として注目を集めているのが、「覚醒開頭術」です。

人間の運動をつかさどる脳の中枢は前頭葉にあり、運動野と呼ばれています。言語をつかさどる中枢は言語野と呼ばれ左脳にあります。この近くに脳腫瘍などが発生した場合に、後遺症を残さずに腫

瘍を全摘出することは大変困難です。それは、手術中に中枢の位置を確認することが非常に難しいためです。

当院では、手術時に、全身麻酔をしないで、痛み止めの局所麻酔だけを使い、患者さんと手術中に話をしたり、手足を動かしてもらうなどして、リアルタイムに中枢とそれぞれの神経機能を確認しながら腫瘍を摘出する「覚醒開頭術」を行っています。

「覚醒開頭術」により、手足の麻痺や言語障害などの後遺症が激減しています。

# かしわば ゼミナール 第1回

## 身近で頼りになる 脳と神経系の専門病院

柏葉脳神経外科病院では、こんな治療が受けられます

専門病院が治療するのは  
難しい病気だけ？  
6つの診療科目で  
総合的な治療を

「脳の病気」というと、非常に重い病気  
で、恐ろしいというイメージを持って  
いる人が多いのではないだろうか。また  
「脳の専門病院は、何か難しい治療を行っ  
ているところで、普段の生活にあまり関  
係のないところ」と思っている人もい  
るようです。

しかし、「頭痛」「めまい」「手足のし  
びれ」などの症状は、脳卒中や外傷をは  
じめ、脳や脊髄の病気のこ  
とがたくさんあり、脳神経  
外科の領域です。比較的軽  
い症状でも、脳神経外科を  
気軽に訪ねてください。最  
先端の設備と専門的な知  
識を持った医療スタッフに  
よって、適切な診断と治療  
を受けることができます。

「脳の専門病院」はけっし  
て敷居の高いところではな  
く、身近で頼りになる病院  
なのです。

### 脳神経外科

脳卒中、脳腫瘍、脳や脊髄の外傷、頸部脊椎症、  
顔面けいれん、三叉神経痛、頭痛などの治療

### 神経内科

パーキンソン病、神経変性疾患、てんかん、  
神経脱髄疾患、肩凝り、頭痛などの治療

### 精神保健科

脳卒中や脳腫瘍、手足の麻痺などによる心のおちこみ、  
不安の治療、痴呆、うつ病、そう病、ノイローゼ、不  
眠症などの治療、心理療法

当院の名称は「柏葉脳神経外科病院」で  
すが、診療科目は脳神経外科だけではあ  
りません。脳の手術が必要な病気は脳神  
経外科ですが、手の「ふるえ」や歩行障害  
などのパーキンソン病や変性疾患、神経  
難病は神経内科で担当します。  
脳卒中や脳腫瘍による「心の傷・不安」  
に関しては、精神保健科で心理療法も受  
けられます。また、頑固な痛みや神経痛  
は麻酔科で痛みを  
軽減してもらうこ  
ともできます。  
このほかにも、  
放射線科、リハビ  
リテーション科を  
開設しており、6  
つの診療科目が相  
互に連携を取りな  
がら、脳や脊髄に  
関する病気を総合  
的に治療していま  
す。

## 部門レポート

### 放射線科



科長 川村 芳美

11人のスタッフが担当しています

## MRI (磁気共鳴断層撮影装置)

### 脳卒中、脳腫瘍、脊髄疾患の診断に 威力を発揮します

磁力と電磁波を使って、脳、脊髄や心臓などの  
臓器を画像化することができます。小さな脳梗  
塞や脳出血、脳腫瘍を見逃さず、脳梗塞も発症  
後すぐに異常を発見できます。また、くも膜下  
出血の原因である脳動脈瘤の発見もできます。  
検査中は少し大きな音がしますが、安心してお  
受けください。検査時間は15～20分です。



MRI



RI

## RI (SPECT)

### 脳の病態の早期把握および経過観察、 治療方針の決定などに

放射性同位元素という薬品を静脈注射し、目的  
臓器から出てくる放射線をガンマカメラで受け  
て画像化します。脳梗塞、脳腫瘍、心筋梗塞な  
どの病巣発見や、急性期の脳梗塞の診断には欠  
かせない検査です。また、脳腫瘍の良性と悪性  
の区別、残存腫瘍の診断にも有効です。ガンマ  
カメラが顔面すれすれを動きますが、心配あり  
ません。検査時間は20～30分です。

羊ヶ丘をはじめとする豊平区の雄  
大な緑のように、医療という環境  
の中で人を和ませ、安らぎを与  
えられる人の輪づくりができたな  
ら……。そんな願いが「患者さん  
の立場にたった患者さんのための  
医療」「心に太陽を唇に温かいほ

## 編集後記

ほ笑みを」という二つのモットー  
を生み、このモットーの身近な表  
現の一つとして広報誌を創刊させ  
ていただく運びとなりました。よ  
り身近な、親しみやすい誌面を目  
指したいと思っております。よろ  
しくお願いいたします。(小川)